

ニホンヤモリ

体色は灰色や褐色で、不鮮明な暗色の斑紋が入っています。環境や光の加減に応じて体色の濃淡を変化させることができます。全身が細かい鱗に覆われているが、背面にはやや大型の鱗が散在しています。

尾は基部に2~4対の大型のイボ状の鱗があり、トカゲ類と同様に自切を行うことで逃げます。切れた尾は再生しますが、元のサイズや色目とは違う様相になることが多いです。

体は扁平で、壁の隙間などの狭い場所にも潜り込めます。四肢には指ごとに1対の趾下薄板(しかはくばん)が発達し、垂直なガラス面などにも張りついて活動できます。



入手方法

ペットショップや爬虫類専門店でも入手は可能です。ニホンヤモリは、人の住んでいる近くに棲息している爬虫類です。

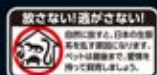
家の近辺を探して採集して飼育することもおすすめです。



ペットは最後まで責任を持って飼育しましょう。

生き物を触った後は必ず手を洗きましょう。

EXO TERRA専用ホームページ
www.gex-fp.co.jp/exoterra 充実の動画コンテンツ!



このやさしさを人と社会へ
GEX ジェックス株式会社



EXO TERRA

ニホンヤモリ の飼い方



ニホンヤモリとは

人間社会に寄り添い、家屋に接して生きる爬虫類として知られています。民家の明かりを求め飛来する虫を捕食することから【守宮】(家を守る者)の名称が与えられました。ニホンカナヘビと同様に庭先や公園、民家周辺の雑木林などの家の近くでよく見かける最も身近な爬虫類の一つです。夜間の家のガラスや壁、玄関周りの照明や公園の公衆トイレ、自動販売機などの照明に集まる虫を求めて食べにくる姿をよく見かけます。もともと暖かい地方に生息していたニホンヤモリは東北以南の日本に分布します。

和名: ニホンヤモリ
英名: Japanese gecko
学名: *Gekko japonicus*
分布: 日本
全長: 約10~15cm
寿命: 約5~10年



EXO-TERRA商品
こちらから

ニホンヤモリの飼い方

フード

昆虫食性なのでふやかしたレオパブレンドフードを口に合わせたサイズにして与えることができます。活餌(コオロギやミルワーム、ワラジムシなど)を与える場合は口に入るサイズの昆虫を与えてください。カルシウムは成長期や繁殖期には毎日、昆虫にまぶしたりして与えてください。カルシウムは月1~2回を目安に与えてください。



水飲み皿

ひっくり返しにくい安定したお皿がオススメ。水の中に入ったりする場合もあるので、毎日新しい新鮮な水をいれてあげましょう。霧吹きでケージのガラス面に水滴をかけて、水分補給することも可能です。



床材

掃除しやすく、フンが見えやすいものがおすすです。フンなどの排泄物は毎日取り除き、キレイに保ってあげましょう。また、定期的に床材は交換して清潔な環境を保ってあげることも必要です。湿度を上げるためにも霧吹きで定期的に濡らしてあげてください。



ケージ

お手入れ、お世話がしやすい前扉・ガラス製のケージが便利です。そんなに大きなケージは必要ありませんが、高さのあるものがおススメです。上下運動ができるよう高さ20cm以上あるケージを用意してあげるとのびのびと動く姿を観察することができます。



アクセサリ

ケージ内に寒暖差を作ったり、隠れ家として。クールダウンしたり、ストレスから身を守るためにもシェルターは不可欠です



照明・ライティング

夜行性なのでとくに強い紫外線は必要ありませんが、昼間は太陽光の代わりになる光を与えることで昼夜の環境が作れます。照明で1日の周期を再現してあげましょう。



紫外線ランプ照射器具: コンパクトトップ
紫外線ランプ: ナチュラルライト



温度管理

快適な環境が作れているか定期的にチェックするために、温度計や湿度計を設置することをオススメします。

設定温度・湿度

日中	20~28℃を目安に
夜間	18~25℃を目安に
湿度	60~70%を目安に

ケージ内全体が暑くなりすぎないように温度が低い場所を作ってあげてください。



ヒーター

パネルタイプのヒーターをケージの底に設置してください。ケージの1/3~1/2サイズの物を用意してください。タイマーサーモを使用すれば、昼夜の2段階温度管理ができ便利です。ヒーターを設置して、上記温度を保ってあげると、冬場も元気に動く姿を見ることができます。



※パネルタイプヒーターは白熱球の設置例に設置してください。

